

01 人は誰でもまちがえる

—うっかりミスを防ぐための医療・福祉現場での取り組み—



保健科学部 言語聴覚法学科

准教授 原 修一

医療や福祉サービスを安全に利用していただくための方法を、皆で学んでいきましょう！

うっかりミスは誰にでも起こるものです。しかし、医療や福祉の現場では、このうっかりミスが人の命を奪ったり、他人に知られてはいけぬ情報をもたらしてしまうことにつながります。医療や福祉の現場で働く人々はうっかりミスや事故を起こさないようにするための努力を重ねています。

このプログラムでは、まず体験を通じて、医療や福祉の現場で正確な情報が伝わらなかったことで、どのような問題が起こるのかを考えてみます。そして、医療や福祉の現場ではうっかりミスを防ぐために実際どのような工夫や取り組みをしているのかを、危険を予測するトレーニング方法の体験や医療・福祉現場で用いられている機器の見学などを通じて学びます。医療や福祉の現場で働く職業を目指している学生の皆さんの参加をお待ちしております。

8.28 Sat 募集人数 高校生 20名

プログラム (一日のながれ)

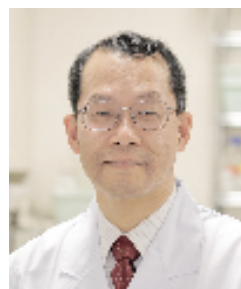
- 9:00~ 9:30 ● 受付(九州保健福祉大学言語棟集合)
- 9:30~10:00 ● 開講式(挨拶、リインテュン、科研費の説明)
- 10:00~10:50 ● 演習1『人は誰でも間違える』
(休憩) なぜ事故が起こるのだろうか
- 11:00~11:50 ● 演習2『危険を予測する』
- 12:00~13:00 ● 昼食 *美味しいお弁当が出ますよ！
- 13:00~14:00 ● 演習3 各学科での演習
(各学科の機器・施設見学・体験学習)
- 14:00~14:10 ● ティータイム *お茶菓子を準備します
- 14:10~14:30 ● 修了式(アンケート記入、未来博士号の授与)
- 14:30 ● 終了・解散



医療現場の風景を画像で見て、見えない危険について考え、安全を学ぶことができるソフトです。プログラムではその一部を体験します。

02 神経細胞を見てみよう、触ってみよう

—マンゴーから認知症の薬を作る—



薬学部 薬学科

教授 川原 正博

実験って、ジグソーパズルを解くような面白さがありますよ！

脳がなければ、記憶することも愛することも出来ません。脳の中の神経細胞(ニューロン)は、勉強している時にも活発に活動しています。認知症は、ニューロンが死んでいき、記憶が失われていく病気です。お年寄りが認知症にならないためには、どうすれば良いのか？宮崎県の特産物から薬をさがす私たちの試みを講義と実験でご紹介します。

我々は、認知症状がどのようなメカニズムでおこるのかをずっと研究してきましたが、最近カルノシンという物質が認知症に有効であることが分かり、健康食品の開発などを進めています。このプログラムでは、まず、「記憶している時に脳の中では何が起きているんだろう？(講師:川原正博)」という講義で、脳神経の仕組み、記憶のメカニズム、そして認知症研究の現状について説明した後、皆さんに神経細胞を培養してもらい、培養した神経細胞に薬物を投与して死んでいく様子を顕微鏡で観察してもらいます。シャーレの中で生きている神経細胞を実際に目で見てみませんか？

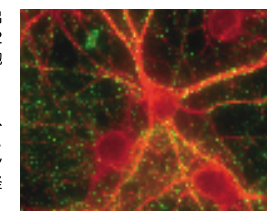
8.28 Sat 募集人数 高校生 25名

プログラム (一日のながれ)

- 9:00~ 9:30 ● 受付(九州保健福祉大学7号棟集合)
- 9:30~10:00 ● 開講式(挨拶、リインテュン、科研費の説明)
- 10:00~11:00 ● 講義『記憶している時に脳の中では何が起きているんだろう？』
- 11:00~12:00 ● 実験①:培養神経細胞に対する投与実験
- 12:00~13:00 ● 昼食 *美味しいお弁当が出ますよ！
- 13:00~15:00 ● 実験②:培養神経細胞の系代培養実験
- 15:00~15:30 ● ティータイム *お茶菓子を準備します
- 15:30~17:30 ● 実験③:形態観察
- 17:30~18:00 ● 修了式(アンケート記入、未来博士号の授与)
- 18:00 ● 終了・解散



ネズミの脳から取り出した後、シャーレで2週間培養した神経細胞(赤色)



突起の周囲にシナプス(緑色)が観察できます。認知症になるとこのシナプスが無くなり、神経細胞が死んでいきます。

▲赤:神経細胞 緑:シナプス

03 園芸植物の不思議なパワー

—医療・保健・福祉に役立つ生命の力を楽しみながら考えよう—



保健科学部 作業療法学科

教授 小浦 誠吾

“身近な植物とのかわり”の大切さを科学しましょう。

皆さんも、生命の不思議さや五感からの刺激を利用した園芸(植物を育てる行為)を医療・保健・福祉に活用する方法を楽しく学びませんか？きっと視野が広がって、受験などに役立つ脳トレにもなる「目から鱗(うるこ)」のお話が満載です。

*皆さんが作ったこけ玉は、容器や飾りと共にお土産として持って帰っていただけます。せっかく作るんですから、素敵な作品を作ってご家族にプレゼントしてもいいですね。

*簡単なアンケートに答えていただき、未来博士号を受け取ってください。

10.2 Sat 募集人数 高校生 40名

プログラム (一日のながれ)

- 9:30~10:00 ● 受付(九州保健福祉大学作業棟集合)
- 10:00~10:30 ● 開講式(挨拶、リインテュン、科研費の説明)
- 10:30~11:30 ● 講義『植物の不思議なパワーと園芸療法を学ぶ
コケダマ作り』
- 11:30~12:30 ● 実習『片麻痺の高齢者・セラピスト体験』
- 12:30~13:30 ● 昼食 *美味しいお弁当が出ますよ！
- 13:30~14:50 ● 【医療機器の解説と体験】言語聴覚療法分野、視機能療法分野、臨床工学分野、作業療法分野
- 14:50~15:00 ● ティータイム
*天然ハーブを使った美味しいお菓子和ハーブティー！
- 15:00~15:30 ● 修了式(アンケート記入、未来博士号の授与)
- 15:30 ● 終了・解散



ステビアというハーブは葉や茎を噛んでみると甘い味がします。料理をしなくても味覚の刺激もできるんですよ！

みんなでレイズドベット(車椅子の方も一緒に園芸ができるように工夫した立ち上げ花壇)を作りました！

